「現在の日本の流れ」 を考え、ぜひ講演会に参加を！

◆ここ一年余の日本の流れは、坂道を転がるように右へ右へと進んでいる異常な　流れとしか考えられません。

例えば、
①二〇一三年十二月…「特定秘密保護法」の成立
・これは、民主主義の基盤である「国民の知る権利」を阻害し、場合によっては　政府の不正行為をも隠ぺいできる可能性もある悪法です。

②二〇一四年七月…「集団的自衛権」の解釈変更
・戦後の歴代政権は、集団的自衛権の行使は「憲法上許されない」と判断してき　ました。しかし今回、安倍首相は、国会をはじめ、国民的議論を避け、首相中　心の閣議という一部の決定によって、これまでの判断を大転換させ、憲法第九　条の根本を読み替え、結果的に「戦争を始めること」を可能　にするという、平和原則を崩す歴史的暴挙に出ました。
・これは、アメリカが海外派兵を日本に求めた場合、日本は断れず、日本は攻撃　されてもいないのに、戦争することを余儀なくされ、日本の防衛とは関係なく、　軍事行動を強いられるのです。

③さらに、昨年十二月、安倍首相は、総選挙の運動中は「憲法改正」に　は一切口をつぐみ、しかし、選挙に勝ったとなると「憲法改正」を口にするず　るさ！
・そこで「憲法第九条」が狙われてくる‥。

◆この流れの中、戦争準備の一環として、もしもの場合の戦死者をどう扱うのか、　が当然のように出て来ます。その時に、戦前の「靖国で会おう！」の合い　言葉の下、「天皇のために」そして「靖国神社国家護持」へと進んで行く‥。

★この時に「戦争責任と日本国憲法」の講演を聞き、改めて、戦争の無意味さと　憲法の尊さを考えたいと思います。戦争が近づいて来た！

■ぜひご参加ください！

日時　二〇一五年二月十一日（水）
開場一時半・午後二時開会～午後四時閉会
場所　浜松市地域情報センター（東田町）
講演　「戦争責任と日本国憲法」
講師　古関　彰一氏（獨協大学名誉教授）
※この集会は、約二〇団体の共催にて開催。（連絡先　浜松市中区紺屋町三〇一～一五　小林）

二〇一五年二月八日（日）第五七六回・憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会（事務局　浜松市中区紺屋町三〇一～十五）